

- 1 だいてもくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは一ぎようめに書き、文しうは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくごとぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

() 月 日 曜日

開発と自然かん境

五年 藤條 照平

屋久島はウミガメや屋久杉、大川の菟など自然の豊かな島として有名だ。そのため、屋久島には観光客がたくさん来る。そして、観光客に自然をしっかりと見てもらいまた来てもらうため山を切り広き山道を作り観光客のための建物を造り開発を進める。しかし、このために屋久島の自然かん境は少しずつ悪化してきている。しかし、学校の授業で土木工事を

を見学に行ったとき、先生にこの工事は何を つくっているかを聞くと山の中を通る新しい道を作る工事だと言われた。だが、ぼくはこの道を作る必要がないんじゃないかと思った。なので作る理由を聞いてみた。すると木を切つて運ぶための道をつくっているそうだ。木を運ぶだけならふつうの道をつかってもいいはずなのに、なぜ山を切り広いでまでここに道をつくるんだらうと思った。このようにどことかが自然いさんの多い屋久島でも起きている。

- 4 と、とは、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しうは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくしうにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ ） 月 日 曜日

本当にこのままでいいのだから。ぼくは、
 そう思うことがある。たしかに屋久島の自然
 は強く、ゆう大だ。だが何をしても、それら
 が変わらないわけではない。たっ少しのこ
 とでは変わらなないかもしれないが、たっ少
 しが合わされば大きな力になる。げんに、昔
 に比べれば、シカやサルの量も杉の量もずい
 ぶん減っている。このままでは屋久島の自然
 の豊かさはいつのまにかなくなってしまうか
 もしれない。ぼくは、屋久島がすきだ。だが

ら、屋久島の自然が少なくなるのはいやだ。
 だが、かん境をこれ以上悪化しないように
 しよう。と考える。観光客が、山に登ったり屋
 久島に観光に来たりする数を制限することが
 考えられる。すると、観光客のおかげで活動
 していた、サービス業にたずさわると、さ
 の人たちがこまることになる。さらに、今ま
 でたくさんの人たちに自然をみてもらうた
 め、浜でゴミを拾ったり、山をきれいにしてい
 た人も活動がやりにくくなり、自然かん境

- 4 と、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいてもくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しようは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくごとくにぎようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

（ ）月 日 曜日

か悪くなるかもしれない。しかし、逆に観光客が増えれば、また自然かん境が悪くなる。一体どちらがいいのだろうか。ぼくは、どちらもあるまい。いいとは思えなかつた。だから、きつとぼくたちはこれから、自然かん境と観光が共々んできるような方法を考えていかなければいけないのではないかと思つた。しかし、実際自分で考えてみると思つていたよりむずかしくなつてきた。なかなかなか思いつかない。やつと思いついたのは、島の入々がボランテイアで浜や川、山をきれいにするといいものだつた。なかなかいと思つたが、島の入たちに、やる時間があるかどうか分からない。他の人たちにも機会があつたら考えてほしい。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましょう。

(不許複製)

